実務経験のある教員等による授業科目一覧**【歯科衛生学科】**

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
口腔衛生学	2	久保田　浩三		
歯科衛生士概論	1	下野　あゆみ		
歯科臨床概論	1	竹原　直道		
保存修復学	1	安永　愛		
歯内療法学	1	藤元　政考		
歯周治療学	1	久保田　浩三		
歯科補綴学	1	安増　絵理		
口腔外科学	1	吉岡　泉	三次　翔	
歯科麻酔学（救急蘇生含む）	1	原野　望		
小児歯科学	1	牧　憲司	渡辺　幸嗣	
高齢者・障害者歯科疾患論	1	柿木　保明		
矯正歯科学	1	郡司掛　香織		
歯科口腔放射線論	1	小田　昌史		
歯科予防処置論Ⅰ	1	下野　あゆみ	永富　すみれ	
歯科予防処置演習Ⅰ	2	下野　あゆみ	永富　すみれ	
う蝕予防処置論	1	五十嵐　比奈子	永富　すみれ	
歯科予防処置演習Ⅱ	3	中島　紀子	五十嵐　比奈子	下野　あゆみ
		永富　すみれ		
歯科予防処置論Ⅱ	1	中島　紀子	下野　あゆみ	
歯科保健指導論Ⅰ	2	五十嵐　比奈子	永富　すみれ	
歯科保健指導論Ⅱ	2	五十嵐　比奈子		
歯科保健指導演習Ⅰ	1	五十嵐　比奈子	永富　すみれ	
歯科保健指導演習Ⅱ	2	五十嵐　比奈子	永富　すみれ	八丁　亜由美
歯科保健指導論Ⅲ	1	五十嵐　比奈子		
歯科診療補助論Ⅰ	1	下野　あゆみ		
歯科診療補助演習Ⅰ	3	中島　紀子	永富　すみれ	
歯科診療補助論Ⅱ	1	中島　紀子	下野　あゆみ	
歯科診療補助演習Ⅱ	2	中島　紀子	五十嵐　比奈子	下野　あゆみ
		永富　すみれ		
歯科診療補助演習Ⅲ	2	五十嵐　比奈子	中島　紀子	
歯科診療補助論Ⅲ	1	中島　紀子		
医療事務論	1	五十嵐　比奈子		
看護学	1	山本　佐知子		
臨床検査法	1	中原　孝洋		
臨地・臨床実習Ⅰ	8	永富　すみれ		
臨地・臨床実習Ⅱ	12	永富　すみれ		
総合講義	2	安永　愛	柿木　保明	吉岡　泉
		郡司掛　香織	久保田　浩三	安増　絵里
		牧　憲司	藤元　政考	

実務経験のある教員等による授業科目一覧**【歯科衛生学科】**

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
介護技術概論	1	柴田　仁子		
介護技術演習	1	柴田　仁子		
摂食嚥下・口腔機能訓練法	1	藤井　航		
合　　計	68			

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	生物					担当者名	松山　佳永					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						

授業概要	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する
成績評価	記述試験
その他	松山佳永（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　生物学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	生命	
2	細胞	
3	細胞の活動	
4	細胞の一生	
5	個体のなり立ち　1	
6	〃　　2	
7	生殖	
8	遺伝子	
9	まとめ・演習1	
10	刺激の受容	
11	ホメオスタシス	
12	ホルモン　1	
13	ホルモン　2	
14	生体防御	
15	まとめ・演習2	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	情報処理	担当者名	大重　勝己

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	高度情報化社会の中で多種多様な情報から、歯科衛生士・医療・自身にとって必要な情報・データの選択、収集の方法、収集した情報の処理方法、処理結果の解釈・分析及び活用方法を学び、倫理観に基づいた情報管理能力を取得し、歯科衛生業務や研究・自身の生活に活用できる能力を養う
成績評価	タイピング実技・作品・小テスト・授業への熱意と態度
その他	大重勝己（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	ワープロ検定過去問題	日本情報処理検定協会	

回数	授業計画	教科書ページ数
1	コンピュータとインターネットの基礎知識１　＜コンピュータの歴史と5大要素・構成要素＞	
2	コンピュータとインターネットの基礎知識２　＜コンピュータの基本操作＞	
3	コンピュータとインターネットの基礎知識３　＜インターネットの歴史と仕組みとサービス＞	
4	情報リテラシー（基礎演習１）　＜Microsoft PowerPoint の基礎利用＞	
5	情報リテラシー（基礎演習２）＜スライド作成の基本と効果的なアニメーション＞	
6	情報リテラシー（基礎演習３）	
7	インターネットの基礎知識４　＜情報セキュリティ、インターネット利用に関するマナーと法律	
8	インターネットの基礎知識５　＜情報セキュリティ、インターネット利用に関するマナーと法律	
9	情報リテラシー（基礎演習４）　＜Microsoft Word の基礎利用＞ページフォーマット	
10	情報リテラシー（基礎演習５）　＜Microsoft Wordの基礎利用＞図・表の挿入・図形の活用	
11	情報リテラシー（基礎演習６）　＜Microsoft Excelの基礎知識＞　セル	
12	情報リテラシー（基礎演習７）　＜Microsoft Excelの基礎知識＞　関数・グラフ	
13	powerpoint 作成作業	
14	powerpoint 作成作業	
15	powerpoint 作成作業	
	発表（期末試験）	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	コミュニケーション学					担当者名	井浦　ひとみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	対面式授業をし、一人一人コミュニケーションをとりながらプリントを中心に進めていく。常に楽しい授業を心がけ、コミュニケーションを円滑に進めるには、相手を尊重する気持ちや相手への思いやりが大切である。「相手を思いやる気持ち」を形にしたマナーを指導する。
成績評価	テスト点、平常点（出席率、発表、提出物）を総合して評価点をつける。
その他	井浦ひとみ（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	ビジネスマナー基本テキスト	キャリア総研吉田元治	日本能率協会マネジメントセンター

回数	授業計画	教科書ページ数
1	第1編　ビジネスマナーとコミュニケーションの基本 1．キャリアと豊かな仕事生活　1－1．働くということ　1－2．仕事への取り組み方	
2	2．ビジネスマナーの基本 2－1．ビジネスマナーは社会人としての基　2－2．職場でのコミュニケーション	
3	2－3．円滑なコミュニケーションのために　2－4．社会人としての身だしなみ	
4	3．就業中のマナー 3－1．出社から退社までの基本ルール　3－2．仕事中の態度や行動	
5	3－3．感じの良い挨拶　3－4．おじぎの基本とお客さまとの接し方	
6	練習問題（模擬テスト）	
7	4．指示の受け方と報告・連絡・相談 4－1．支持を受け話を聞くポイント　4－2．中間報告、相談、忠告の受け方	
8	5．話し方の基本 5－1．印象が良くビジネスにふさわしい話し方　5－2．ビジネスの場にふさわしいことばづかい	
9	5－3．プレゼンテーションの基本と自己紹介　練習問題（模擬テスト）	
10	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	心理学	担当者名	菅　典雄

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	心のマネジメント、ストレスとリラクゼーション、深層心理、唯識と脳科学
成績評価	期末試験の成績による
その他	菅　典雄(実務経験なし)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	心理学入門	
2	心理学の歴史	
3	知覚と認識（1）	
4	知覚と認識（2）	
5	深層心理（1）	
6	深層心理（2）	
7	深層心理（3）	
8	唯識心理学（1）	
9	唯識心理学（2）	
10	唯識心理学（3）	
11	唯識心理学（4）	
12	ストレス	
13	リラクゼーション	
14	自律訓練法	
15	呼吸と瞑想	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	外国語（医学英語）	担当者名	工藤　和男

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を、「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	工藤和男（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者　円城寺康子/川越栄子	メジカルビュー社

回数	授業計画	教科書ページ数
1	人体の器官1（内臓器官）、英作文演習　医療現場での英語1（自己紹介）	
2	人体の器官2（心臓）、英作文演習　医療現場での英語2（病棟案内ー1）	
3	人体の器官3（消化器官）、英作文演習　医療現場での英語3（病棟案内-2）	
4	人体の器官4（膵臓の働き）、英作文演習　医療現場での英語4（食事）	
5	人体の器官5（脳/耳）、英作文演習　医療現場での英語5（排泄）	
6	人体の器官6（小腸と大腸）、英作文演習　医療現場での英語6（入浴）	
7	人体の器官7（目）、英作文演習　医療現場での英語7（睡眠）	
8	人体の器官8（皮膚の構造）、英作文演習　医療現場での英語8（病歴徴収-健康上の習慣）	
9	人体の器官9（腎臓）、英作文演習　医療現場での英語9（病歴徴収-排泄）	
10	人体の器官10（呼吸器系）、英作文演習　医療現場での英語10（病歴徴収-手術、薬、病状）	
11	人体の器官11（口と歯）、英作文演習　医療現場での英語11（血圧検査/体温検査）	
12	人体の器官12（脊髄/末梢神経）、英作文演習　医療現場での英語12（血液検査/尿、便検査）	
13	人体の器官13（体循環/血管）、英作文演習　医療現場での英語13（投薬）	
14	人体の器官14（全身の骨格）、英作文演習　医療現場での英語14（注射、包帯）	
15	人体の器官15（免疫システム）、英作文演習　医療現場での英語15（体位）	
	期末試験	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	対象学科
	○			歯科衛生学科

授業科目名	生涯健康スポーツ論Ⅰ	担当者名	得本啓次

授業形態 単位数	講義	演習	実技	実習	履修年次等 授業時間数	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
	2					30					

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す
成績評価	レポート30%，試験70%
その他	得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版　生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園

回	授業計画		
1	スポーツと社会環境	1）ガイダンス，2）生涯スポーツトレーナーとは 【動画：水嶋理事長】，3）生涯スポーツトレーナー概論（教本）	4月12日
2	スポーツ心理学①	1）脳トレ2.0Moticommi①マインドセット	4月19日
3	スポーツ心理学②	1）脳トレ2.0Moticommi②イメージの力のトレーニング	4月26日
4	スポーツ心理学③	1）脳トレ2.0Moticommi③未来をイメージする	5月10日
5	スポーツ心理学④	1）ロジック・ブレインとは,ロジックブレインの使い方,陰陽五行説,ロジック・ブレインでわかること,ロジック・ブレインエンジンとは,ロジック・ブレインの分析経緯	5月17日
6	スポーツ心理学⑤	1）ロジックブレインのコミュニケーション論（ベーシック編）自分の中の4つの自分を知る,優先順位,戦略3分類,ヒューマンリレーション,相関図,12分類マトリックス,ビジネスの取り組み,マネジメント,プレゼンテーション	5月31日
7	スポーツ心理学⑥	1）ロジックブレインのコミュニケーション論（オペレーション編）マーケティング・セールス,マネジメント,ビジネススタイル,ビジネスの役割,能力,リズム	6月7日
8	スポーツ医学①	1）e-learning，人体の区分と名称（6分），身体の方向をあらわす用語（16分），代表的な関節運動（15分），脊柱（14分） 2）解剖生理学（教本）,3）骨の役割(4分),骨の構造(9分),筋の分類(3分),骨格筋について(6分)，4）骨と関節のしくみみとはたらき（教本）	6月14日
9	スポーツ医学②	1）e-learning,筋収縮のメカニズム①②(8分)(6分)，2）筋肉のしくみとはたらき（教本）	6月21日
10	スポーツトレーナー学①	1）e-learning「スポーツ」「運動」の必要性（7分），ファンクショナルトレーニングとは（14分），正しい姿勢とプランク(24分)	6月28日
11	スポーツトレーナー学②	1）e-learning，基礎動作の重要性(11分)上肢の動きについて(13分)，下肢の動きについて(15分)，2）発達障害と不器用さ（教本）,3）全身を連動させた回旋運動について(16分)，プログラミングの重要性について(12分)，運動指導におけるコーチングについて(31分)	7月5日
12	指導方法	1）e-learning子ども、高齢者運動指導の基礎知識(22分)，高齢者の運動指導(23分),2）児童期の運動指導(17分)，3）高齢者の身体とトレーニング（教本），4）子供の身体とトレーニング（教本）	7月12日
13	栄養学	1）栄養素の基礎知識、2）身体づくりと栄養	7月19日
14	関係法規	1）e-learning医療行為と医療類似行為(11分)，禁止事項(11分)，2）用語解説（教本）	7月26日
15	総括	1）まとめ2）スポーツトレーナー【出水先生】	9月13日

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	対象学科
	○			歯科衛生学科

授業科目名	生涯健康スポーツ論Ⅱ	担当者名	得本啓次

授業形態 単位数	講義	演習	実技	実習	履修年次等 授業時間数	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
		2					30				

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す
成績評価	レポート提出で評価する。
その他	得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書/参考図書	生涯スポーツトレーナー教本 背骨コンディショニング 世界一わかりやすいパーソナルストレッチ 背骨コンディショニングパーソナルトレーナー教本 背骨コンディショニングインストラクター教本 Ｔボールティーチャー指導教本		

回	授業計画		
1	生涯スポーツ概論	ガイダンス(受講上の注意等)、生涯スポーツトレーナーアドバンスについて	10月6日
2	スポーツトレーナー学④	背骨コンディショニング　基礎理論	10月20日
3	スポーツトレーナー学⑤	背骨コンディショニング　アライメントチェック，体操	11月10日
4	スポーツトレーナー学⑥	パーソナルストレッチ　シェイキング（上半身，下半身）	11月17日
5	スポーツトレーナー学⑦	パーソナルストレッチ　ムービング（上半身，下半身）	11月24日
6	スポーツトレーナー学⑧	発育発達と不器用さ　理解と指導上の留意点	12月1日
7	スポーツトレーナー学⑨	発育発達と不器用さ　感覚・運動機能の臨床観察法	12月8日
8	スポーツトレーナー学⑩	高齢者と子どもの運動指導　高齢者に必要な運動・指導	12月15日
9	スポーツトレーナー学⑪	高齢者と子どもの運動指導　年齢に合った運動選択と指導	12月22日
10	スポーツトレーナー学⑫	ファンクショナルトレーニング　日常で出来る運動	1月12日
11	スポーツトレーナー学⑬	ファンクショナルトレーニング　7つ基礎動作（プランク、プル、プッシュ、ヒンジ、スクワット、ランジ、ローテーション）	1月19日
12	スポーツトレーナー学⑭	（Ｔボール）　1/4　講義　概論，必要性，魅力	1月26日
13	スポーツトレーナー学⑮	（Ｔボール）　2/4　講義　ルール，審判方法，運営方法，指導法	2月2日
14	スポーツトレーナー学⑯	（Ｔボール）　3/4　実技　捕る投げる打つの基礎動作	3月2日
15	スポーツトレーナー学⑰	（Ｔボール）　4/4　実技　ゲーム形式練習	3月2日

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学	担当者名	野代　悦生

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	30					

授業概要	人体の構造と形態を中心に機能および臨床との関連において教授する。
成績評価	中間テスト、定期試験で評価する。
その他	野代　悦生（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　解剖学・組織発生学・生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂

回数	授業計画	教科書ページ数
1	解剖学概説	1-12
2	骨格系	45-57
3	筋と運動	58-74
4	消化・吸収	85-97
5	循環（血液・心臓）	109-127
6	動脈系・静脈系	128-138
7	リンパ系	138-143
8	中間テスト、解説	
9	神経系	144-167
10	呼吸	171-181
11	感覚器	189-204
12	排泄	206-216
13	内分泌	227-233
14	生殖	234-242
15	総まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学					担当者名	有吉　渉・吉岡　香絵					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	人体を構成する各要素のその個々の機能とメカニズムについて理解する
成績評価	期末試験
その他	有吉　渉（実務経験なし）　吉岡　香絵（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　解剖・組織発生・生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	生理学総論、細胞の機能	P14～22、26～31
2	骨の機能、筋の機能	P46、60～64
3	運動の機能	P74～83
4	消化、吸収の機能	P85～86、98～108
5	血液の機能、体液の機能	P109～123
6	循環器の機能、中枢神経系の機能①	P123～128、144～149
7	中枢神経系の機能②、末梢神経系の機能	P149～170
8	中間試験、解説	
9	呼吸の機能　呼吸運動の機序とその調節系について学ぶ	P171～188
10	感覚　感覚の種類と感覚器の機能について学ぶ	P189～204
11	排泄　水と電解質の調節、腎臓の機能、排尿機構について学ぶ	P206～217
12	体温　熱産生・放熱、体温の調節と変動について学ぶ	P218～226
13	内分泌の機能1　下垂体、甲状腺、副甲状腺ホルモンの生理機能と分泌制御について学ぶ	P227～231
14	内分泌の機能2　膵臓、副腎、性腺、松果体ホルモンの生理機能と分泌制御について学ぶ	P231～233
15	生殖器の機能　性周期、分娩、乳汁分泌の調整系について学ぶ	P234～242
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生化学					担当者名		古株　彰一郎			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	科学技術の急速な進展とともに近年医療が高度化し、バイオマーカー、遺伝子診断、分子標的薬、個別化医療などに代表されるように、多くの疾患の病態・検査・治療が細胞レベル、分子レベルで語られるようになってきた。そこで、これからの未来を歯科医療人として生きていくために、人体が営む生命現象を細胞レベル・分子レベルで理解し、歯と口腔を中心に学習していく。
成績評価	筆記試験
その他	古株　彰一郎（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	生体の構成要素	
2	細胞と細胞内小器官および酵素	
3	消化と吸収、糖質代謝その1	
4	糖質代謝その2、脂質代謝	
5	タンパク質とアミノ酸代謝	
6	遺伝子とDNA複製・修復	
7	転写、翻訳、修飾	
8	免疫の遺伝子	
9	結合組織	
10	歯の無機成分と有機成分	
11	石灰化のしくみ	
12	唾液の生化学	
13	情報伝達（サイトカイン・ホルモン）	
14	がんの生化学、細胞周期、アポトーシス	
15	国家試験対策	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	組織発生学	担当者名	松山　佳永

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	ヒトの顕微鏡レベルの構造と、人体の発生の仕組みについて学習する
成績評価	記述試験
その他	松山佳永（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　解剖学・組織発生学・生理学 最新歯科衛生士教本　口腔解剖学・口腔組織発生	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	細胞と組織	
2	人体の発生　1	
3	人体の発生　2	
4	歯と歯周組織の発生　1	
5	歯と歯周組織の発生　2	
6	歯の構造　1	
7	歯の構造　2	
8	歯周組織の構造	
9	口腔粘膜と舌	
10	唾液腺	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔解剖学					担当者名	松山　佳永					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	口腔解剖学では、頭頸部の骨、筋、脈管、神経などの構造を学習し、歯科医療に必要な解剖学的な知識を習得していく。
成績評価	期末試験により評価を行う。
その他	松山佳永（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	口腔解剖学総論	
2	頭頸部の骨　1	
3	〃　　2	
4	頭頸部の筋　1	
5	〃　　2	
6	まとめ・演習　1	
7	顎関節の構造	
8	頭頸部の脈管系　1	
9	〃　　2	
10	頭頸部の神経　1	
11	〃　　2	
12	〃　　3	
13	舌と唾液腺	
14	咽頭と喉頭	
15	まとめ・演習　2	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔生理学	担当者名	引地　尚子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	歯や口腔とその周囲組織の生理機能を理解することを目的とする
成績評価	中間試験　期末試験により評価する 授業態度や出席率も評価の対象とする
その他	引地尚子（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯の感覚	68-71
2	口腔粘膜の感覚	72-73
3	味覚その１	74-77
4	味覚その２	77-81
5	嗅覚	81-86
6	咬合、咀嚼・吸啜その１	87-96
7	咬合、咀嚼・吸啜その２	96-104
8	中間テスト解説	
9	嚥下と嘔吐その１	105-112
10	嚥下と嘔吐その２	112-120
11	嚥下と嘔吐その３	120-123
12	発声その１	124-129
13	発声その２	129-135
14	唾液その１	136-140
15	唾液その２	140-146
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	歯牙解剖学	担当者名	瀬田　祐司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	歯牙解剖学では歯の構造を学習し、歯科医療に必要な解剖学的知識を習得させることを目的とする。
成績評価	期末試験により評価を行う。
その他	瀬田祐司（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯牙解剖の基礎知識	
2	永久歯1（前歯）	
3	永久歯2（小臼歯）	
4	永久歯3（大臼歯）	
5	乳歯	
6	歯牙スケッチ実習	
7	歯型彫刻実習1	
8	歯型彫刻実習2	
9	歯牙鑑別実習	
10	歯の組織（エナメル質）	
11	歯の組織（象牙質・歯髄）	
12	歯の組織（歯周組織1）	
13	歯の組織（歯周組織2）	
14	歯の発生1	
15	歯の発生2	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	病理学	担当者名	松尾　拡

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	病理学とは生体に起こる病的な状態（病気、疾病）の本態を追求する学問であり、病気を起こす原因、それぞれの病気で生じてくる変化、その経過、そしてそれがためにたどる転帰を一本の軸とし、関連する事項をも含めて論ぜられる。本講義においては病気を総論的視点から一般的通則として把握することを主眼として講義を行い、並行して行われる口腔病理学講義の内容を理解する上でも必要不可欠の基礎的項目を教授する。
成績評価	中間試験　期末試験で評価する。 授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	松尾拡（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　病理学・口腔病理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	第1章　病理学序論と病因論、第2章　遺伝性疾患と奇形（1）	p2 ～ p9
2	第2章　遺伝性疾患と奇形（2）	p10 ～ p13
3	第3章　循環障害（1）	p14 ～ p17
4	第3章　循環障害（2）	p18 ～ p22
5	第4章　代謝障害と退行性病変（1）	p23 ～ p28
6	第4章　代謝障害と退行性病変（2）	p29 ～ p33
7	第5章　増殖と修復	p34 ～ p42
8	中間試験と解説、 第6章　炎症と免疫応答異常（1）	p43 ～ p47
9	第6章　炎症と免疫応答異常（2）	p48 ～ p51
10	第6章　炎症と免疫応答異常（3）	p52 ～ p55
11	第6章　炎症と免疫応答異常（4）	p56 ～ p59
12	第7章　腫瘍（1）	p60 ～ p62
13	第7章　腫瘍（2）	p63 ～ p65
14	第7章　腫瘍（3）	p66 ～ p68
15	国家試験形式オリジナル問題集の解説	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔病理学	担当者名	松尾　拡

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	病理学講義が病気を総論的視から一般的通則として把握することを主眼とするのに対し、本講義は病理学における一各論と位置付けられ、口腔顎顔面領域という臓器・組織の特殊性を十分把握しながら、そこに起こる病変の特徴などについて理解することを主眼とする。口腔顎顔面領域の各病変について、組織・細胞レベルから歯科臨床に直結する内容にわたり歯科医療に携わるものとして必須の項目について教授する。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。 授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	松尾拡（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　病理学・口腔病理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	第1章　歯の発育異常	p70 ～ p80
2	第2章　歯の損傷と着色・付着物	p81 ～ p87
3	第3章　う蝕	p88 ～ p96
4	第4章　象牙質・歯髄複合体の病態（1）	p97 ～ p100
5	第4章　象牙質・歯髄複合体の病態（2）	p101 ～ p104
6	第5章　歯周組織の病態（1）	p105 ～ p109
7	第5章　歯周組織の病態（2）	p110 ～ p121
8	中間試験と解説、 第6章　口腔粘膜の病変（1）	p122 ～ p126
9	第6章　口腔粘膜の病変（2）、 第7章　口腔領域の嚢胞と腫瘍（1）	p127 ～ p135
10	第7章　口腔領域の嚢胞と腫瘍（2）	p136 ～ p145
11	第8章　口腔癌	p146 ～ p151
12	第9章　顎骨の病変	p152 ～ p160
13	第10章　唾液腺の病変	p161 ～ p167
14	第11章　口腔領域の奇形	p168 ～ p173
15	第12章　口腔組織の加齢変化	p174 ～ p180
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	微生物学・口腔微生物学					担当者名	山﨑　亮太				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	微生物はヒトの生活と密接に関わっている。その中で、ヒトに感染症を引き起こす微生物を病原微生物という。授業では、病原微生物の特性（分類、性質、病原性、伝播）、感染症の発症機序、感染症に対する免疫機構、予防法、薬物治療法などの基礎知識を修得して微生物に関する知識を得ることにより、感染症の仕組みを理解し感染防御に役立てることを目指す。
成績評価	定期試験
その他	山﨑亮太（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　微生物学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	疾病と微生物	p1～p12
2	微生物の病原性1	p13～p28
3	微生物の病原性2	p28～p48
4	微生物の病原性3	p48～p73
5	宿主防御機構と免疫1	p74～p91
6	宿主防御機構と免疫2	p92～p103
7	宿主防御機構と免疫3	p103～p109
8	中間試験	p1～p109
9	口腔微生物学	p110～p122
10	口腔感染症1	p123～p137
11	口腔感染症2	p137～p143
12	化学療法	p144～p154
13	院内感染対策と滅菌・消毒	p155～p166
14	細菌培養・顕微鏡観察	p167～p177
15	試験対策・総復習	p1～p177
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	薬理学・歯科薬理学	担当者名	竹内　弘

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		30				

授業概要	医療従事者に必要な、薬と生体の関わりについての基本的知識を理解する。 総論では薬物療法を理解する上で必要となる基本的な用語、薬の作用機序、薬の体内での運命、薬の効き方に影響する因子、薬の有害作用について学ぶ。各論では、歯科医療で使用される薬物や、歯科臨床現場で遭遇する頻度の高い疾患の治療に用いる薬物を中心に作用機序や副作用について学ぶ。
成績評価	筆記試験
その他	竹内弘（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　薬理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	薬理学総論 ①（薬理学とは、薬物療養、薬理作用、用量）	2～10
2	薬理学総論 ②（薬物動態）	11～21
3	薬理学総論 ③（薬物の適用方法、血中濃度）	22～27
4	薬理学総論 ④（薬物の作用に影響を与える要因）	28～36
5	薬理学総論 ⑤（薬物の副作用、有害作用）	37～43
6	薬理学総論 ⑥（医薬品を適用する際の注意）	44～50
7	薬理学総論 ⑤（薬物の取扱い、薬物と法律・薬物と医薬品）	51～64
8	中間試験：末梢神経系に作用する薬物（1）	73～80
9	末梢神経系に作用する薬物（2）・循環器系に作用する薬物	73～80、93～99
10	中枢神経系に作用する薬物	81～92
11	血液に作用する薬物	112～117、66～71
12	免疫と薬、悪性腫瘍と薬、代謝性疾患治療薬	118～134、66～71
13	炎症と薬、痛みと薬	135～149
14	局所麻酔薬	150～158
15	抗感染症薬、消毒薬	159～180
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	関係法規	担当者名	引地　尚子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	関係法規は、専門基礎分野の科目である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」に位置づけられる。授業では、衛生行政の目的と組織、法の分類、歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法、その他の医療関係職種の法規、薬事に関連する法規、地域保健に関連する法規、社会保険に関連する法規及び社会福祉行政の概要等について講義する。
成績評価	中間試験および期末試験で評価する。
その他	引地尚子（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科衛生士と法律・制度 第3版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	衛生行政と法制度、歯科衛生士法①	1-6
2	歯科衛生士法②	7-26
3	歯科衛生士法③	27-39
4	歯科医師法、歯科技工士法、歯科口腔保健法	39-49
5	中間試験　医療法	50-58
6	その他の医療関係職種の法規	59-74
7	薬事関連法規、地域関連法規、その他の衛生法規	75-94
8	社会保険制度①	95-108
9	社会保険制度②	108-116
10	社会福祉、医療の動向	116-131
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		●	

授業科目名	口腔衛生学	担当者名	久保田　浩三

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	20				

授業概要	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し，歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を習得する
成績評価	期末試験、出席、レポートで評価する
その他	久保田浩三（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　保健生態学　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画	教科書ページ数
1	1章　総論　①歯・口腔の健康と予防	P88－91
2	1章　総論　②歯・口腔の健康	P92－107
3	1章　総論　③歯・口腔の付着物・沈着物	P110－117
4	2章　口腔清掃　①口腔清掃の意義、②口腔清掃法	P119－121
5	2章　口腔清掃　③人工的清掃法の分類と用具，　④不適切な口腔清掃による為害作用	P121－126
6	2章　口腔清掃　④不適切な口腔清掃による為害作用　⑤歯磨剤と洗口剤	P126－131
7	3章　歯科疾患の疫学について―う蝕の疫学、歯周病の疫学	P132－135
8	3章　歯科疾患の疫学について―歯周病の疫学、その他の疫学	P135－137
9	4章　う蝕の予防　①～②う蝕発生のメカニズムと発生要因	P138－145
10	4章　③～④う蝕活動性とう蝕の予防法	P146－152
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔衛生学	担当者名	久保田　浩三

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	20				

授業概要	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し，歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を習得する
成績評価	期末試験、出席、レポートで評価する
その他	久保田浩三（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　保健生態学　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画	教科書ページ数
11	5章　フッ化物によるう蝕予防①～④	P155－157
12	5章　フッ化物によるう蝕予防⑤～⑦フッ化物洗口	P158－172
13	5章　フッ化物によるう蝕予防⑦フッ化物歯磨剤⑧～⑨	P172－181
14	6章　歯周疾患の予防①～②	P182－188
15	6章　歯周疾患の予防③～④	P188－191
16	7章　その他の疾患・異常の予防について①～④	P194－199
17	7章　その他の疾患・異常の予防について⑤～⑦	P199－203
18	8章　ライフステージごとの口腔保健管理　①口腔保健管理の目標　②母子口腔保健	P204－206
19	8章　ライフステージごとの口腔保健管理　③小児期の口腔保健　④成人期・老年期の口腔保健	P209－214
20	予防処置のまとめ、国試対策	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	衛生学・公衆衛生学	担当者名	五島　志織

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	衛生学・公衆衛生学に関する概論と、各論として衛生統計、感染対策、環境と健康の関連、公衆衛生の主要な概念、行政組織、地域保健、および国際保健について学ぶ。
成績評価	中間試験　期末試験により評価する
その他	五島志織（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　保健生態学　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	衛生学・公衆衛生学の概念、予防医学の概念、疫学の方法	P2～P17
2	人口統計	P18～P33
3	健康と環境　環境概念、空気・水、放射線、住居、衣服	P34～P49
4	健康と環境　地球環境、公害、廃棄物	P49～P59
5	感染症	P60～P65
6	感染症　予防接種、感染症種類	P66～75
7	食品と健康	P76～P87
8	中間試験	
9	地域保健の概念	P216～P231
10	地域保健	P232～P247
11	母子保健、学校保健	P248～269
12	学校保健、成人保健	P270～P286
13	産業保健、高齢者保健	P287～P308
14	精神保健、災害時の保健	P309～P324
15	国際保健	P325～P329
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	衛生行政・社会福祉					担当者名		秋房　住郎			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	歯科衛生士として必要な法律に関する知識、衛生行政の現状と課題及び対策、社会福祉について概説する。
成績評価	期末試験100点満点中60点以上を合格とする。
その他	秋房　住郎（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科衛生士と法律・制度 第3版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科衛生士のための衛生行政･社会福祉･社会保険 第10版	末髙　武彦	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画	教科書ページ数
1	衛生行政の概要	p1～3
2	歯科衛生士法（１）	p3～12
3	歯科衛生士法（２）	p13～25
4	歯科衛生士法（３）	p26～37
5	歯科医師法	p38～48
6	歯科口腔保健法	p48～49
7	医療法	p49～58
8	他職種の身分法	p59～74
9	薬事に関連する法規	p75～81
10	地域保健に関連する法規（１）	p81～85
11	地域保健に関連する法規（２）	p85～93
12	社会保障の概要	p94～106
13	介護保険、年金	p106～113
14	雇用保険、生活保護	p114～123
15	医療の動向	p124～129

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科衛生士概論	担当者名	下野　あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数	20					

授業概要	歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援するものとなるために、保健医療人としての基本的態度について理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科衛生学総論	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科衛生学とは	p.1～p.2
2	健康とは	p.2～p.7
3	歯科衛生の歴史	p.8～p.19
4	歯科衛生活動のための理論（予防の概念）	p.20～p.28
5	〃　（ICF/EBM/クリティカルシンキング）	
6	歯科衛生過程	演習
7	歯科衛生士法と歯科衛生士業務	p.32～p.40
8	歯科衛生士の活動の場	p.42～p.48
9	インフォームドコンセント・セカンドオピニオン	p.77～p.88
10	他職種協働・他職種の理解	p.66～p.76

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	医療倫理学	担当者名	久保田 浩三

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	一般目標： 倫理問題に配慮して医療、歯科医療を行うために、生命と医療に関わる倫理の重要性を理解する。到達目標： ①生命の尊厳について説明できる。 ②生と死に関わる倫理的問題を説明できる。③生命倫理・医療倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。④医の倫理に関する規範を概説できる。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	久保田浩三（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理	全国歯科衛生士教育協議会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	1章 なぜ医療倫理を学ぶのか	P1～9
2	2章 医療倫理に関する規範とバイオエシックス	P10～30
3	3章 インフォームド・コンセント	P32～42
4	4章 研究と医療倫理	P43～51
5	付章 歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動	P52～65
6	付章 歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動	P66～72
7	個人情報について（グループワーク）	
8	著作権について（グループワーク）	
9	付2 医療倫理に関連する規範と法令	P73～84
10	人を対象とする研究と倫理審査に関して． 国家試験問題の検討	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科臨床概論				担当者名	竹原　直道					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	教科書に準拠しこれを縦糸とし、幅広く歯科衛生になるにあたって必要な知識と考え方を身につける。個々の項目の重要性とともに、臨床に共通する一般的な常識に重点を置いた考え方を縦糸として理解できるように配慮したい。、例えば消毒、インフォームド・コンセント、医療事故、医療倫理、歯科衛生士ー患者関係、歯科衛生士ー歯科医師関係、看護師などとの間で、医学知識が共有できるような視点から講義を進める。
成績評価	中間試験並びに期末試験結果の平均点をもって成績とし、60点以上を合格と判定する。
その他	竹原直道（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための歯科臨床概論	松井恭平　森崎市次郎　白鳥たかみ　船奥律子　編	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科診療とは、歯科診療所　練習問題	
2	歯科診療所における業務　練習問題	
3	歯科診療の流れ、歯科診療で行うこと　練習問題	
4	歯周組織の検査、痛みのコントロール　練習問題	
5	小児歯科と先天異常・う蝕予防処置　練習問題	
6	高齢者の特徴①　練習問題	
7	高齢者の特徴②、医療安全と消毒　練習問題	
8	中間テスト　解答と解説	
9	小児歯科と先天異常・う蝕予防処置　練習問題	
10	医療面接、患者と歯科衛生士の関係　練習問題	
11	全身疾患と歯科　練習問題	
12	復習　練習問題①	
13	復習　練習問題②	
14	復習　練習問題③	
15	まとめ　補遺	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	保存修復学					担当者名	安永　愛					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	本科目では歯の硬組織疾患の治療を対象とする保存修復学の基礎を学び、保存修復における歯科衛生士の役割を理解する。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。
その他	安永 愛(大学病院において歯科医師として勤務)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	概論	1-12
2	歯の硬組織疾患の種類と病態	13-20
3	う蝕の好発部位、窩洞	20-24
4	保存修復治療の概要	25-37
5	コンポジットレジン修復1（組成、種類、歯質接着）	38-44
6	コンポジットレジン修復2（機材、特徴、手順）	44-52
7	セメント修復	52-60
8	中間試験、解説	
9	インレー修復1（分類、メタルインレー修復）	61-68
10	インレー修復2（セラミックインレー修復、コンポジットインレー修復）	68-72
11	ベニア修復	73-76
12	合着材、接着材	77-82
13	保存修復における歯科衛生士の役割1	83-95
14	保存修復における歯科衛生士の役割2	95-111
15	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯内療法学					担当者名	藤元　政考				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	歯の硬組織、歯髄、根尖周囲組織の疾患や傷害に対する診断、予防を学ぶ学問である。本科目では、歯内療法の基礎を学び、歯内療法に関する診療補助の能力を習得することを目的とする。
成績評価	試験
その他	藤元政考（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯内治療概論	
2	歯髄炎①	
3	歯髄炎②	
4	根尖性歯周炎①	
5	根尖性歯周炎②	
6	歯髄の保存療法	
7	歯髄の除去療法	
8	根管治療①	
9	根管治療②	
10	根管充填	
11	外科的歯内治療／外傷	
12	歯内治療の安全対策	
13	歯内治療における歯科衛生士の役割①	
14	歯内治療における歯科衛生士の役割②	
15	歯内治療まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯周治療学	担当者名	久保田　浩三

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数			30			

授業概要	歯周治療学では、歯周病の分類や原因、治療法について学ぶ。歯周組織の病気である歯周病は、デンタルカリエスとともに歯を喪失する原因として重要視されている。この疾患の予防と治療に関して包括的に学び、歯を維持していきことを学ぶ。また、歯を保存することによる全身の健康維持に関与することを理解する。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	久保田浩三（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯周病学　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯周治療とは 歯周疾患の現状と治療、歯科衛生業務と歯周治療	2～6
2	正常な歯周組織の構造と機能 歯周病に罹患した歯周組織	8～16
3	歯周病の分類と原因 過去の歯周疾患の分類と現在の歯周病学会分類について説明しその症状について説明する	17～27
4	歯周病の原因 歯周病の発症について概説すると共に病態を説明する	28～36
5	歯周医学（ペリオドンタルメディシン）、 歯周医学（歯周病と全身疾患）、インプラント周囲炎、 歯周病と関連性があると言われている全身疾患との関連性、治療時の注意事項、管理法等について	37～42
6	歯周治療の実際 歯周治療の進め方	44～53
7	歯周病の検査 歯周疾患の診査の意義と方法について説明	55～72
8	歯周基本治療 原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特にプラークコントロール、スケーリングとルートプレーニング、デブライドメントの効果について	74～86
9	歯周外科治療 歯周治療における歯周外科の位置付け、歯周外科の種類について	87～114
10	歯周外科の器具とアシスタント法 歯周外科に使用される外科器具について，使用法、使用目的また、歯周外科時のアシスタント法について	92～101
11	歯周治療としての口腔機能回復治療 歯内・歯周病変、歯内病変と歯周病変が合併したもので，発症、分類、治療法について	118～126
12	メインテナンスとは 歯周治療で基本治療と共に必ず行う必要がある治療過程でその治療法、間隔とアセスメントについて	128～132
13	歯周治療として口腔機能回復治療　咬合治療	118～120
14	歯周治療における歯科衛生士の業務①	136～
15	歯周治療における歯科衛生士の業務② 歯周治療における歯科衛生士の役割	136～
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科補綴学					担当者名		安増　絵理			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	歯科補綴治療に関する基礎知識および治療の実際を教授するとともに歯科衛生士の役割について確認する.
成績評価	期末試験により評価する。
その他	安増絵理（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常1　歯科補綴　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科補綴治療の意義と目的	2～11
2	補綴装置（クラウン・ブリッジ）	12～16、68～75
3	補綴装置（クラウン・ブリッジ）	〃
4	補綴装置（有床義歯）	16～18、109～111
5	補綴装置（有床義歯）	18～23、145～153
6	補綴装置（インプラント、特殊口腔内装置）	23～26、175～178、212～215
7	歯科補綴治療の基礎知識	29～45
8	歯科補綴治療の基礎知識	〃
9	歯科補綴治療における各種検査	48～67
10	クラウン・ブリッジ治療	68～108
11	クラウン・ブリッジ治療	〃
12	有床義歯治療	109～174
13	有床義歯治療	〃
14	インプラント治療	175～208
15	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	口腔外科学					担当者名	吉岡　泉・三次　翔				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	口腔顎顔面領域における各種疾患および口腔に関連した全身疾患について学ぶ。口腔外科疾患の診断と治療、口腔病変と全身疾患との関わり、歯科治療における全身管理、口腔外科患者と歯科衛生士の関わりを習得する。
成績評価	試験および授業態度
その他	吉岡　泉（大学病院において歯科医師として勤務）　三次　翔（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	口腔外科学総論 （吉岡）	2
2	顎顔面領域の先天疾患と発育異常 （吉岡）	19
3	顎顔面領域の損傷および機能障害 （吉岡）	34
4	顎関節疾患 （三次）	45
5	口腔粘膜の病変 （三次）	50
6	口腔粘膜の病変 （三次）	50
7	顎口腔領域の化膿性炎症性病変 （三次）	80
8	顎口腔領域の嚢胞性病変 （三次）	89
9	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患 （三次）	97
10	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患 （三次）	97
11	唾液腺疾患 （三次）	112
12	口腔領域の神経疾患 （三次）	122
13	口腔外科診療の実際 （三次）	130
14	口腔外科診療の実際 （三次）	130
15	まとめ （三次）	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科麻酔学（救急蘇生含む）	担当者名	原野　望

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	歯科治療は生体にとって侵害刺激となる。この刺激を制御して生体を防御することは非常に重要である。 そのため必要不可欠なスキルである全身管理に重点を置き、薬物調整法や疼痛の発生ならびに緊急時にお ける対処法、救急蘇生法、応急手当まで修得する。 救急蘇生実習　必修
成績評価	定期試験および実習、授業態度
その他	原野　望（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科麻酔学　第8版	福島　和昭	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科治療における歯科麻酔と患者管理	P174～184
2	基礎疾患と歯科治療①	P9～14
3	基礎疾患と歯科治療②	P15～18
4	局所麻酔	P185～193
5	精神鎮静法	P194～199
6	全身麻酔法	P200～205
7	歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかかわり	P218～231
8	救急蘇生法①	P206～209
9	救急蘇生法②	P209～215
10	救急蘇生法実習	P209～215
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	小児歯科学					担当者名	牧　憲司・渡辺　幸嗣					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	小児における歯科診療について、概論および疾患や治療法の基礎知識、また実際の歯科診療補助について学ぶ。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。
その他	牧　憲司（大学病院において歯科医師として勤務）　渡辺　幸嗣（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　小児歯科　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	小児歯科総論	Ⅰ編1章、2章
2	小児の生理的特徴、顎顔面発育	Ⅰ編3章、4章
3	歯の発育と異常、歯列・咬合の発育と異常	Ⅰ編5章、6章
4	小児の歯科疾患	Ⅰ編7章
5	小児歯科診療の基本	Ⅱ編1章、2章1．2
6	小児歯科診療における診療体系	Ⅱ編2章3～7
7	小児の外科処置	Ⅱ編2章8～9
8	中間試験	
9	咬合誘導、フッ化ジアンミン銀、リコール	Ⅱ編2章10～12
10	小児への対応法	Ⅱ編3章
11	障害児への歯科治療	Ⅱ編4章
12	小児歯科臨床における歯科衛生士の役割①	Ⅲ編1章2章
13	〃　②	Ⅲ編2章3章
14	〃　③	Ⅲ編4章5章
15	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	高齢者・障害者歯科疾患論	担当者名	柿木　保明

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	高齢者及び障害者にみられる歯科口腔疾患を理解して、社会福祉や制度とともに、予防処置や口腔衛生管理、歯科保健指導、診療補助、機能訓練を学ぶ。また、関連する全身疾患や口腔との関係についても学ぶ。
成績評価	中間試験、期末試験により評価する。
その他	柿木　保明（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士講座　高齢者歯科学　第3版 歯科衛生士講座　障害者歯科学　第2版	森戸　光彦ら 緒方　克也、柿木　保明ら	永末書店
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	高齢者・障害者と社会福祉、介護保険	
2	地域医療と高齢者・障害者	
3	歯科衛生士と口腔ケア・口腔保健管理	
4	加齢の科学	
5	高齢者の口腔疾患	
6	全身状態の把握と対応	
7	高齢者歯科医療と診療補助	
8	中間テスト、摂食嚥下リハビリテーション	
9	障害の分類と特徴	
10	障害者歯科医療と診療補助	
11	歯科衛生士と医療安全	
12	行動調整とコミュニケーション	
13	歯科保健指導と口腔衛生管理	
14	高齢者・障害者と社会福祉、介護保険障害者歯科の予防処置、医療連携	
15	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	矯正歯科学	担当者名	郡司掛　香織

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	歯科矯正学の基本的な知識の学習 歯科衛生士の役割の学習 矯正歯科治療の一般的な流れや不正咬合の解決法の学習 実際に歯科衛生士が臨床現場で行う手技の学習 歯科全般に関わる一般的な知識の学習
成績評価	8回目に中間試験を実施する。 期末試験では第1回から第15回までの講義内容から出題し、成績を評価する。 中間試験の点数も加味する場合がある。
その他	郡司掛　香織（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　咬合障害・咬合異常2　歯科矯正	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版
参考図書	歯科矯正学　第6版	飯田順一郎ら	

回数	授業計画	教科書ページ数
1	オリエンテーション、矯正歯科治療の概要	P2-12
2	成長発育	P13-22
3	正常咬合と不正咬合①	P23-37
4	正常咬合と不正咬合②	P23-37
5	正常咬合と不正咬合③	P23-37
6	矯正歯科診断	P38-52
7	矯正歯科治療と力	P53-63
8	中間試験（出題範囲：第1回～第7回分）、試験解説	
9	矯正装置①	P64-80
10	矯正装置②	P64-80
11	矯正装置③	P64-80
12	矯正歯科治療の実際	P82-118
13	矯正歯科診断に関わる業務、矯正用器具・材料の準備と取扱い	P120-138
14	矯正装置装着時の補助と指導	P138-154
15	矯正歯科患者と口腔保健管理	P155-181
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科口腔放射線論				担当者名	小田昌史					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	歯科衛生士としての業務範囲で行い得る放射線業務について理解するとともにそれらの基本となる事項を把握することを目的とする。具体的には、放射線に関する知識、防護に関する知識、エックス線撮影補助の知識を深め、安全かつ効率的に歯科診療補助を行えることを目指す。
成績評価	定期試験
その他	小田　昌史（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科放射線	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科医療と放射線1	p1～7
2	歯科医療と放射線2	p8～12
3	歯科医療と放射線3	p13～19
4	エックス線画像の形成	p20～26
5	歯科におけるエックス線検査1	p27～48
6	歯科におけるエックス線検査1	p49～61
7	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割1	p62～80
8	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割2	p81～96
9	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割	p97～107
10	写真処理と画像保管の実際・放射線治療と口腔管理	p108～126
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科予防処置論Ⅰ	担当者名	下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数	30					

授業概要	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科予防処置論の概要（定義、考え方、位置づけ、予防の概念）	
2	口腔の基礎知識（正常な口腔、歯周組織）	
3	口腔の基礎知識（歯冠と歯根の形態、口腔の機能）	
4	口腔内の付着物、沈着物とプラークの基礎知識	
5	歯周病の基礎知識	
6	う蝕の基礎知識	
7	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	
8	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理（口腔内の情報収集）	
9	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理（口腔内の情報収集）	
10	歯周検査（エキスプローラー、歯周プローブの基礎知識、操作方法）	
11	歯周検査（エキスプローラー、歯周プローブの基礎知識、操作方法）	
12	分析のためのデータ（歯周疾患指数）	
13	スケーリングの基礎知識（スケーリングとは、スケーリングに用いる器具器材、ミラーテクニック）	
14	シックルスケーラーの基礎知識（把持法、操作方法、ポジショニング）	
15	まとめ	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅰ	担当者名	下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数	20	60				

授業概要	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	備考
1	歯周検査ファントム演習（ファントムの使い方、ポジショニング、エキスプローリング）	
2	歯周検査ファントム演習（プロービング）	
3	歯周検査ファントム演習（プロービング）	
4	歯周検査ファントム演習（プロービング）	
5	歯周検査ファントム演習（プロービング）	
6	歯周検査ファントム演習（プロービング）→歯周検査（実技テスト）	
7	歯周検査（実技テスト）/シックル	
8	シックルスケーラーファントム演習	
9	シックルスケーラーファントム演習	
10	シックルスケーラー（実技テスト）	
11	キュレットスケーラーの基礎知識①	
12	キュレットスケーラーの基礎知識②	
13	キュレットスケーラー　顎模型演習（前歯）	
14	キュレットスケーラー　顎模型演習（右上臼歯）	
15	キュレットスケーラー　顎模型演習（左上臼歯）	
16	キュレットスケーラー　顎模型演習（右下臼歯）	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅰ	担当者名	下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数	20	60				

授業概要	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
17	キュレットスケーラー　顎模型演習（左下臼歯）	
18	キュレットスケーラー　顎模型演習（上顎）	
19	キュレットスケーラー　顎模型演習（下顎）	
20	パワースケーラーの取り扱い	
21	超音波、エアースケーラー（顎模型演習）/プロービング（顎模型演習）	
22	超音波、エアースケーラー（顎模型演習）/プロービング（顎模型演習）	
23	歯面研磨・歯面清掃(PMTC・PTC)の基礎知識	
24	器具の取り扱い説明（コントラアングルハンドピース）	
25	歯面清掃（顎模型演習）A/プロービング（顎模型演習）B	
26	歯面清掃（顎模型演習）B/プロービング（顎模型演習）A	
27	歯面清掃器の取り扱い	
28	歯面清掃器（顎模型演習前歯）A	
29	歯面清掃器（顎模型演習前歯）B	
30	まとめ	
31	歯周検査①（相互演習））A/シックル（顎模型演習）B	
32	歯周検査①（相互演習）B/シックル（顎模型演習）A	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅰ	担当者名	下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数	20	60				

授業概要	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
33	歯周検査②（相互演習）A/シックル（顎模型演習）B	
34	歯周検査②（相互演習）B/シックル（顎模型演習）A	
35	歯周検査③（相互演習）A/シックル（顎模型演習）B	
36	歯周検査③（相互演習）B/シックル（顎模型演習）A	
37	歯周検査④（相互演習）A/シックル（顎模型演習）B	
38	歯周検査④（相互演習）B/シックル（顎模型演習）A	
39	シャープニングの基礎知識、シックル	
40	シャープニング（キュレット）	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	う蝕予防処置論	担当者名	五十嵐比奈子、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数		30				

授業概要	う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	う蝕の基礎知識と概論	
2	う蝕活動試験についての基礎知識	
3	う蝕活動試験の実際	
4	フッ化物の基礎知識	
5	フッ化物中毒量計算	
6	フッ化物中毒量計算	
7	フッ化物応用（フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口）	
8	フッ化物応用（フッ化物配合歯磨剤、フッ化ジアンミン銀）	
9	小窩裂溝填塞法の基礎知識	
10	小窩裂溝填塞法の操作方法	
11	小窩裂溝填塞法の操作方法	
12	まとめ	
13	フッ化ジアンミン銀塗布演習	
14	フッ化物塗布演習（フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口）	
15	フッ化物塗布演習（フッ化物配合歯磨剤、トレー法）	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ	担当者名	中島紀子、五十嵐比奈子、下野あゆみ、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数			92	18		

授業概要	歯周病、う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	実技テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）/五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	最新歯科衛生士教本　歯周病学　第2版	全衛教　監修	医歯薬

回数	授業計画	教科書ページ数
1	相互実習（PTC）	
2	相互実習（PTC）	
3	相互実習（PTC）	
4	相互実習（PTC）	
5	相互実習（PTC）	
6	相互実習（PTC）	
7	相互実習（PTC）	
8	相互実習（PTC）	
9	相互実習（歯面清掃器）	
10	相互実習（歯面清掃器）	
11	1・2年合同相互実習	
12	1・2年合同相互実習	
13	相互実習（歯面清掃器）	
14	相互実習（歯面清掃器）	
15	相互実習（シックルスケーラー）	
16	相互実習（シックルスケーラー）	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ	担当者名	中島紀子、五十嵐比奈子、下野あゆみ、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数			92	18		

回数	授業計画	教科書ページ数
17	相互実習（シックルスケーラー）	
18	相互実習（シックルスケーラー）	
19	相互実習（キュレットスケーラー）	
20	相互実習（キュレットスケーラー）	
21	相互実習（キュレットスケーラー）	
22	相互実習（キュレットスケーラー）	
23	1・2年合同相互実習	
24	1・2年合同相互実習	
25	相互実習（キュレットスケーラー）	
26	相互実習（キュレットスケーラー）	
27	相互実習（キュレットスケーラー）	
28	相互実習（キュレットスケーラー）	
29	相互実習（エアスケーラー）	
30	相互実習（エアスケーラー）	
31	相互実習（エアスケーラー）	
32	相互実習（エアスケーラー）	
33	相互実習（超音波スケーラー）	
34	相互実習（超音波スケーラー）	
35	相互実習（超音波スケーラー）	
36	相互実習（超音波スケーラー）	
37	相互実習（超音波スケーラー）	
38	相互実習（超音波スケーラー）	
39	相互実習（超音波スケーラー）	
40	相互実習（超音波スケーラー）	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ	担当者名	中島紀子、五十嵐比奈子、下野あゆみ、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数			92	18		

回数	授業計画	
41	相互実習（小窩裂溝填塞）	
42	相互実習（小窩裂溝填塞）	
43	相互実習（小窩裂溝填塞）	
44	相互実習（小窩裂溝填塞）	
45	相互実習（歯科衛生過程アセスメント）	
46	相互実習（歯科衛生過程アセスメント）	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ	担当者名	中島紀子、五十嵐比奈子、下野あゆみ、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数			92	18		

授業概要	歯周病、う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	実技テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）/五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	最新　歯科衛生士教本　歯周病学	全衛教　監修	医歯薬

回数	授業計画	
1	相互実習（歯科衛生過程アセスメント）	
2	相互実習（歯科衛生過程アセスメント）	
3	歯科衛生過程（分析・診断・計画立案）	
4	歯科衛生過程（分析・診断・計画立案）	
5	相互実習（歯科衛生介入）	
6	相互実習（歯科衛生介入）	
7	相互実習（歯科衛生介入）	
8	相互実習（歯科衛生介入）	
9	相互実習（歯科衛生過程　評価）	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置論Ⅱ	担当者名	中島紀子・下野あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数						30

授業概要	歯周病やう蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術を深める。
成績評価	期末テストで評価する。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務） 下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第5版⑤	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画	教科書ページ数
1	国家試験対策：歯科予防処置論（総論）	
2	国家試験対策：歯周病予防処置（基礎知識）	
3	国家試験対策：歯周病予防処置（歯・歯周組織の検査）	
4	国家試験対策：歯周病予防処置（計画）	
5	国家試験対策：歯周病予防処置（スケーリング・ルートプレーニング）	
6	国家試験対策：歯周病予防処置（歯面清掃・研磨）	
7	国家試験対策：歯周病予防処置（メインテナンス）	
8	国家試験対策：う蝕の予防（基礎知識）	
9	国家試験対策：う蝕の予防（評価と計画）	
10	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物によるう蝕予防）	
11	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物歯面塗布）	
12	国家試験対策：う蝕の予防（小窩裂溝填塞）	
13	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物洗口）	
14	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物配合歯磨剤）	
15	国家試験対策：う蝕の予防（メインテナンス）	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科保健指導論Ⅰ	担当者名	五十嵐　比奈子、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。また、歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テストで評価する。レポート、授業態度も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	備考
1	歯科保健指導の概要	永富
2	歯ブラシの基礎知識	永富
3	ブラッシング方法の知識と技術（毛先を使用する方法）	永富
4	口腔衛生指導　歯ブラシの選択とブラッシング	永富
5	ブラッシング方法の知識と技術（わき腹を使用する方法）	永富
6	口腔衛生指導　歯ブラシの選択とブラッシング	永富
7	電動歯ブラシと音波ブラシの知識と技術	永富
8	補助的清掃器具の知識と技術	永富
9	補助的清掃器具の知識と技術	永富
10	口腔衛生指導　補助的清掃器具の選択	永富
11	口腔衛生指導　補助的清掃器具の選択	永富
12	歯磨剤、洗口剤の基礎知識	永富
13	歯磨剤、洗口剤の基礎知識	永富
14	口腔衛生指導　症例別歯磨剤、洗口剤の選択	永富
15	歯垢染色剤の知識と技術	五十嵐
16	分析のためのデータ　PCRの概要と計算方法	五十嵐

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科保健指導論Ⅰ	担当者名	五十嵐　比奈子、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。また、歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テストで評価する。レポート、授業態度も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
17	歯垢染色剤を使用してのチャート記入とPCR計算	五十嵐
18	分析のためのデータ　OHI、OHI-Sの概要と計算方法	五十嵐
19	分析のためのデータ　う蝕の指標、写真・画像	五十嵐
20	まとめ	永富

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科保健指導論Ⅱ	担当者名	五十嵐　比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。また、歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テスト 授業態度や提出物も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	食生活指導の基礎と概要	
2	食生活指導の演習	
3	ライフステージにおける歯科衛生介入　妊産婦期の特徴	
4	ライフステージにおける歯科衛生介入　妊産婦期の口腔清掃（歯ブラシの選択）	
5	ライフステージにおける歯科衛生介入　新生児期・乳児期のの特徴	
6	ライフステージにおける歯科衛生介入　新生児期・乳児期の特徴	
7	ライフステージにおける歯科衛生介入　新生児期・乳児期の口腔清掃（歯ブラシの選択）	
8	ライフステージにおける歯科衛生介入　幼児期の特徴	
9	ライフステージにおける歯科衛生介入　幼児期の口腔清掃（歯ブラシの選択）	
10	ライフステージにおける歯科衛生介入　演習	
11	ライフステージにおける歯科衛生介入　学齢期の特徴	
12	ライフステージにおける歯科衛生介入　学齢期の口腔清掃（歯ブラシの選択）	
13	ライフステージにおける歯科衛生介入　青年期の特徴	
14	ライフステージにおける歯科衛生介入　成人期の特徴	
15	喫煙者に対する指導	
16	ライフステージにおける歯科衛生介入　老年期の特徴	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科保健指導論Ⅱ	担当者名	五十嵐　比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。また、歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テスト 授業態度も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
17	ライフステージにおける歯科衛生介入　老年期	
18	配慮を要する者への歯科衛生介入　要介護高齢者	
19	配慮を要する者への歯科衛生介入　障害児者	
20	ライフステージにおける歯科衛生介入　まとめ・演習	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅰ	担当者名	五十嵐 比奈子、永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		1			授業時間数	16	14				

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。また、歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	実技テスト、レポート、グループワーク、発表、出席状況を評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	全衛教 監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	口腔衛生指導実習 歯ブラシと補助的清掃用具の選択	
2	口腔衛生指導実習 歯ブラシと補助的清掃用具の選択	
3	口腔衛生指導実習 PCRとTBI	
4	口腔衛生指導実習 PCRとTBI	
5	口腔衛生指導実習 PCRとTBI	
6	口腔衛生指導実習 PCRとTBI	
7	口腔衛生指導実習 PCRとTBI 評価	
8	口腔衛生指導実習 PCRとTBI 評価	
9	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 乳幼児期の口腔衛生指導	
10	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 青年期・成人期の口腔衛生指導	
11	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 乳幼児期～成人期	
12	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 老年期の歯科保健指導	
13	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 老年期の歯科保健指導	
14	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 老年期の歯科保健指導	
15	ライフステージにあわせた歯科衛生介入 老年期の歯科保健指導	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ	担当者名	五十嵐比奈子・永富すみれ・八丁亜由美

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			40	30		

授業概要	歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた歯科保健指導を行うための専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	グループ製作物、発表、実技テスト、筆記試験、授業態度を評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/ /永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/八丁亜由美（病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版	日本歯科衛生士会　監修	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	口腔ケア（導入、病院で働く歯科衛生士の役割と自己紹介・病院紹介）	（講義）
2	口腔ケア（アセスメントの重要性と歯科衛生過程）	（講義）
3	口腔ケア（口腔ケアの目的と期待される効果、口腔ケアの実際を症例とともに）	（講義）
4	口腔ケア（実習①スポンジブラシの使用）	（実習）
5	口腔ケア（実習②相互実習）	（実習）
6	口腔ケア（摂食嚥下のメカニズムと摂食嚥下における直接訓練・間接訓練）	（講義）
7	口腔ケア（実習③直接訓練と間接訓練、実習の振り返り）	（実習）
8	まとめ	（講義）
9	幼稚園・保育園における歯科教育と歯科保健指導についての概要	五十嵐
10	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画作成	五十嵐
11	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画作成	五十嵐
12	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画作成	五十嵐
13	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	五十嵐
14	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	五十嵐
15	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	五十嵐

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ	担当者名	五十嵐比奈子・永富すみれ・八丁亜由美

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			40	30		

回数	授業計画	教科書ページ数
17	歯科衛生過程　発表	
18	歯科衛生過程　発表	
19	配慮を要する者への歯科衛生介入　大規模災害被災者	
20	災害時の歯科保健活動	
	期末テスト	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ	担当者名	五十嵐比奈子・永富すみれ・八丁亜由美

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			40	30		

授業概要	歯科保健指導を行うために対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得し、ライフステージと機能障害に応じた歯科保健指導を行うための専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	グループ製作物、発表、実技テスト、筆記試験、授業態度を評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/ /永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/八丁亜由美（病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版	日本歯科衛生士会　監修	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	口腔ケア（導入、病院で働く歯科衛生士の役割と自己紹介・病院紹介）	（講義）
2	口腔ケア（アセスメントの重要性と歯科衛生過程）	（講義）
3	口腔ケア（口腔ケアの目的と期待される効果、口腔ケアの実際を症例とともに）	（講義）
4	口腔ケア（実習①スポンジブラシの使用）	（実習）
5	口腔ケア（実習②相互実習）	（実習）
6	口腔ケア（摂食嚥下のメカニズムと摂食嚥下における直接訓練・間接訓練）	（講義）
7	口腔ケア（実習③直接訓練と間接訓練、実習の振り返り）	（実習）
8	まとめ	（講義）
9	幼稚園・保育園における歯科教育と歯科保健指導についての概要	五十嵐
10	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画作成	五十嵐
11	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画作成	五十嵐
12	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画作成	五十嵐
13	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	五十嵐
14	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	五十嵐
15	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	五十嵐

九州医療スポーツ専門学校

令和2年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導論Ⅲ	担当者名	五十嵐比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数						30

授業概要	歯科保健指導および歯科衛生教育の知識、技法を習得し、臨床および公衆衛生活動に対応し得る能力を養う。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第5版⑤	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授業計画	
1	国家試験対策：総論（概論、基礎知識）	
2	国家試験対策：情報収集（個人）	
3	国家試験対策：情報収集（集団、組織、地域）	
4	国家試験対策：口腔衛生管理（基礎知識）	
5	国家試験対策：口腔衛生管理（指導の要点、ブラッシング）	
6	国家試験対策：口腔衛生管理（対象別の指導）	
7	国家試験対策：生活習慣指導（基礎知識、指導の要点、対象別の指導法）	
8	国家試験対策：食生活指導（基礎知識）	
9	国家試験対策：食生活指導（指導の要点）	
10	国家試験対策：食生活指導（対象別の指導法）	
11	国家試験対策：口腔機能管理（基礎知識）	
12	国家試験対策：口腔機能管理（評価、機能障害別の指導法）	
13	国家試験対策：口腔機能管理（対象別の指導法）	
14	国家試験対策：健康教育（健康教育）	
15	国家試験対策：健康教育（健康教育）	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	栄養指導法					担当者名		芹田　千穂・朴　祇佑			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	本科目では、基礎栄養学をはじめライフステージ別の特性および食事摂取基準を理解し、歯科衛生士に必要な知識である適切な栄養指導法を身に付ける事を目標とする。また、臨床での歯科栄養の在り方はもちろん持続的な実践方法についても解説する。
成績評価	期末試験　授業態度
その他	芹田千穂（実務経験なし）、朴祇佑（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	カラーグラフ食品成分表		実教出版

回数	授業計画	教科書ページ数
1	栄養の基礎知識①	
2	栄養の基礎知識②	
3	栄養素の働き①	
4	栄養素の働き②	
5	食べ物と健康	
6	食べ物の物性	
7	望ましい食生活	
8	国民の健康と栄養の現状	
9	食事摂取基準（推定エネルギー必要量の求め方）	
10	食事摂取基準（脂肪エネルギー比率）	
11	基礎代謝	
12	日本人の食事摂取基準	
13	ライフステージ別の栄養と調理	
14	まとめ	
15	国家試験対策	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助論Ⅰ	担当者名	下野あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数	30					

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科診療補助の概念　医療安全と院内感染	
2	救急処置	
3	感染予防の概念　スタンダードプリコーション、感染経路	
4	歯科医療における感染予防対策	
5	歯科医療における感染予防対策	
6	ヒヤリハット・アクシデント（針刺し事故）の現状	
7	ヒヤリハット・アクシデント（針刺し事故）の現状	
8	感染予防　滅菌・消毒の使用方法	
9	感染予防　滅菌・消毒の使用方法	
10	感染予防　医療廃棄物の取り扱い	
11	感染予防　手指消毒の手順	
12	感染予防　手指消毒の手順	
13	グローブ装着・着脱の手順、マスク装着	
14	グローブ装着・着脱の手順、マスク装着	
15	感染予防　診療室における器具・器材防護　歯科治療で注意すべき感染症	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ	担当者名	中島 紀子・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数	40	70				

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版	全衛教 監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科衛生材料の基礎知識と取扱い	
2	歯科衛生材料作製	
3	歯科衛生材料作製	
4	歯科診療で扱う歯科材料 アルジネート印象材、印象採得の基礎知識	
5	印象練和・採得	
6	印象練和・採得	
7	印象練和・採得	
8	印象練和・採得	
9	歯科診療で扱う歯科材料 普通石膏の基礎知識	
10	印象練和・採得・模型作製	
11	印象練和・採得・模型作製	
12	印象練和・採得・模型作製	
13	印象練和・採得・模型作製	
14	印象練和・採得・模型作製	
15	印象練和・採得・模型作製	
16	印象練和・採得・模型作製	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ	担当者名	中島 紀子・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数	40	70				

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版	全衛教 監修	医歯薬
参考図書			

	回数	授業計画	教科書ページ数
	17	印象練和・採得・模型作製	
	18	印象練和・採得・模型作製	
前期	19	印象練和・採得・模型作製	
↑	20	印象練和・採得・模型作製 評価	
↓	21	歯科診療で扱う歯科材料 寒天印象採得の基礎知識	
後期	22	寒天印象採得の補助 連合印象受け渡し	
	23	歯科診療で扱う歯科材料 合成ゴム質印象の基礎知識	
	24	合成ゴム質印象の補助	
	25	合着・接着剤の基礎知識と種類	
	26	合着・接着剤の練和法	
	27	合着・接着剤の練和法	
	28	合着・接着剤の練和法と余剰セメントの除去	
	29	仮封・仮着の補助、基礎知識と種類	
	30	仮封・仮着材の実習	
	31	その他の印象材の補助、ワックスの基礎知識	
	32	歯科診療で扱う歯科材料 綿栓作成	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ	担当者名	中島　紀子・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数	40	70				

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
33	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成	
34	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成	
35	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成	
36	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成	
37	歯科診療における基礎知識、共同動作の概念	
38	共同動作の実践	
39	診療時のライティング、ポジション	
40	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ	
41	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ	
42	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ	
43	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ	
44	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ	
45	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ	
46	ラバーダム防湿の基礎知識	
47	ラバーダム防湿の操作方法	
48	ラバーダム防湿の操作方法	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ	担当者名	中島　紀子・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数	40	70				

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務） 永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
49	ラバーダム防湿の操作方法	
50	ラバーダム防湿の操作方法 （実技テスト）	
51	ラバーダム防湿の操作方法 （実技テスト）	
52	器具の受け渡しの基礎知識	
53	器具の受け渡しの実践	
54	器具の受け渡しの実践	
55	まとめ	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助論Ⅱ	担当者名	中島紀子・下野あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数				30		

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、実技テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務） 下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論 第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	主な全身疾患とその対応（代謝・内分泌疾患）	
2	主な全身疾患とその対応（消化器疾患）	
3	主な全身疾患とその対応（循環器疾患）	
4	主な全身疾患とその対応（血液疾患）	
5	主な全身疾患とその対応（呼吸器疾患）	
6	主な全身疾患とその対応（腎・泌尿器疾患）	
7	主な全身疾患とその対応（免疫・膠原病）	
8	主な全身疾患とその対応（感染症）	
9	主な全身疾患とその対応（神経系疾患）	
10	主な全身疾患とその対応（精神疾患）	
11	主な全身疾患とその対応（がん）	
12	主な全身疾患とその対応（産科・婦人科疾患）	
13	媒体作成①	
14	媒体作成②	
15	媒体作成③	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ	担当者名	中島紀子・五十嵐比奈子 下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			72	8		

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、実技テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）/五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	口腔外科時の診療補助	
2	口腔外科時の診療補助	
3	口腔外科時の診療補助	
4	口腔外科時の診療補助	
5	口腔外科時の診療補助	
6	口腔外科時の診療補助	
7	歯内療法時の診療補助	
8	歯内療法時の診療補助	
9	歯内療法時の診療補助	
10	歯内療法時の診療補助	
11	歯内療法時の診療補助	
12	歯内療法時の診療補助	
13	歯科領域に必要な臨床検査　口腔領域の検査、薬品（薬物）・歯科材料の管理、歯肉圧排	
14	形成歯冠修復の補助　コンポジットレジン修復実習（窩洞と隔壁）	
15	形成歯冠修復の補助　コンポジットレジン修復実習（マトリックスリテーナーと切削器具）	
16	形成歯冠修復の補助　コンポジットレジン修復実習（マトリックスリテーナーと切削器具）	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ	担当者名	中島紀子・五十嵐比奈子 下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			72	8		

回数	授業計画	教科書ページ数
17	補綴治療時の診療補助	
18	補綴治療時の診療補助	
19	補綴治療時の診療補助	
20	補綴治療時の診療補助	
21	補綴治療時の診療補助	
22	形成歯冠修復の補助　コンポジットレジン修復実習（レジン充填）	
23	形成歯冠修復の補助　コンポジットレジン修復実習（レジン充填）	
24	暫間修復材の補助　TEK作製	
25	暫間修復材の補助　TEK作製	
26	暫間修復材の補助　TEK作製	
27	暫間修復材の補助　TEK作製	
28	形成歯冠修復の補助　コンポジットレジン修復実習　TEK仮着	
29	歯周外科治療の診療補助	
30	歯周外科治療の診療補助	
31	歯周外科治療の診療補助	
32	矯正治療時の診療補助	
33	矯正治療時の診療補助	
34	矯正治療時の診療補助	
35	小児歯科治療時の診療補助	
36	小児歯科治療時の診療補助	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ	担当者名	中島紀子・五十嵐比奈子 下野あゆみ・永富すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			72	8		

授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。また、歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
成績評価	期末テスト、実技テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）/五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科麻酔時の診療補助	
2	歯科麻酔時の診療補助	
3	歯科麻酔時の診療補助	
4	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅲ	担当者名	五十嵐　比奈子、中島　紀子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数					40	

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	出席状況や授業態度、グループ点、期末試験で総合的に評価する。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	新　感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄	ICHG研究会　編	医歯薬

回数	授業計画	
1	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
2	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
3	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
4	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
5	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
6	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
7	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
8	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
9	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
10	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
11	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成	
12	幼稚園・保育園における歯科健康教育　評価	
13	幼稚園・保育園における歯科健康教育　評価	
14	幼稚園・保育園における歯科健康教育活動フィードバック	
15	幼稚園・保育園における歯科健康教育活動フィードバック	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅲ	担当者名	五十嵐　比奈子、中島　紀子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数					40	

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門知識、技術および態度を習得する。
成績評価	出席状況や授業態度、グループ点、期末試験で総合的に評価する。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務） 中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	新　感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄	ICHG研究会　編	医歯薬

回数	授業計画	
16	保存治療時の診療補助（根管処置）	
17	口腔外科治療時の診療補助（抜歯、小手術、止血処置、縫合）	
18	補綴治療時の診療補助（検査、印象採得、顎間関係の記録）	
19	矯正歯科治療時の診療補助（器具、材料、検査記録）	
20	救命救急処置（全身管理とモニタリング、救命救急処置）	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	歯科診療補助論Ⅲ	担当者名	中島　紀子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数						30

授業概要	国家試験対策として、歯科診療補助に関する知識、技能及び対応について対策する。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	中島紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助　第2版	全衛教　監修	医歯薬
参考図書	新　感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄	ICHG研究会　編	医歯薬

回数	授業計画	
1	総論	
2	主要歯科材料の種類と取扱いと管理	
3	主要歯科材料の種類と取扱いと管理	
4	エックス線写真撮影時の診療補助	
5	保存治療時の診療補助	
6	保存治療時の診療補助	
7	口腔外科治療時の診療補助	
8	口腔外科治療時の診療補助	
9	補綴治療時の診療補助	
10	補綴治療時の診療補助	
11	矯正歯科治療時の診療補助	
12	小児歯科治療時の診療補助	
13	高齢者治療時の診療補助	
14	救命救急処置	
15	対策問題	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科材料学	担当者名	池田 弘

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	歯科臨床では、多くの種類の歯科材料を取り扱う。それぞれの歯科材料は、複合材料、金属、セラミックスなど様々な種類があり、その特徴を理解することは、適切な取り扱いに必要不可欠である。歯科材料学では、歯科衛生士に必要とされる歯科材料の基礎知識について学ぶ。
成績評価	期末試験、レポート（小試験含む）、出席と授業態度により評価する。
その他	池田弘（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科材料	全衛教　監修	医歯薬出版
参考図書	イラストと写真でわかる歯科材料の基礎　第4版	監著　竹澤保政	永末書店

回数	授業計画	教科書ページ数
1	歯科材料の基礎知識	p1～23
2	歯科衛生に関わる材料	p24～42
3	印象材	p43～58
4	模型用材料	p59～71
5	合着材・接着材	p72～89
6	成形修復材	p90～119
7	暫間修復材と仮着用セメント	p120～127
8	ワックス。金属	p128～141
9	セラミックス	p142～149
10	その他の歯科材料、まとめ	p150～170
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			●

授業科目名	医療事務論	担当者名	五十嵐　比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数					20	

授業概要	社会保障制度における医療保険の仕組みを理解し、歯科医療行為に対する保険適用となる診療報酬の基礎を学ぶ。また歯科治療の流れを理解し、診療録に基づいた診療報酬の算定、患者負担金の計算を行う。一般歯科診療所における日常臨床で頻繁に目にするカルテ症例をもとに、病名と歯科診療の関係やカルテへ記載する用語を理解する。
成績評価	期末試験および、確認テスト、授業態度により総合的に評価する。
その他	五十嵐　比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	歯科診療報酬点数早見表 歯科衛生士のための歯科診療報酬入門	日本歯科衛生士会	日本歯科医師会 医歯薬出版株式会社

回数	授業計画	教科書ページ数
1	授業ガイダンス 医療保険制度の概要	
2	歯科点数表総論 歯科点数表の特徴	
3	歯科衛生士に関係する項目　歯周治療	
4	日常臨床で必要な項目　充填	
5	日常臨床で必要な項目　インレー	
6	日常臨床で必要な項目　歯内治療	
7	日常臨床で必要な項目　クラウン	
8	日常臨床で必要な項目 ブリッジ	
9	日常臨床で必要な項目有床義歯 保険適用外材料	
10	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	看護学				担当者名	山本　佐知子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	看護の概念、歯科衛生士に必要な看護技術や看護業務について学ぶ。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	山本　佐知子（病院において看護師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための看護大意	全国私立歯科大学・歯学部付属病院看護部長会　編	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	看護の歴史・看護の定義	P14～19
2	対象の理解（1）	P20～23
3	看護技術（1）　コミュニケーション①	P40～45
4	看護技術（2）　コミュニケーション②／バイタルサイン①	P40～45
5	看護技術（3）　バイタルサイン②	P24～39
6	看護技術（4）　摂食・その他の看護技術	P51～60
7	患者の安全と安楽（1）　医療安全	P86～97
8	患者の安全と安楽（2）　患者の安楽	P46～50
9	対象の理解（2）	P61～67
10	地域医療活動における歯科衛生士の役割	P98～112
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床検査法	担当者名	中原孝洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	臨床検査によって、全身のさまざまな状態を客観的に把握することができる。全身疾患と歯科との関係は密接であり、それぞれの検査が意味することやデータの読み方について理解する必要がある。とりわけ社会の高齢化が進んでおり、歯科治療のリスクを評価することや、治療中の患者を正確に観察することも求められている。 また、歯科ならではの検査もあり、口腔状態を記録するためには必須のものである。摂食嚥下についても、より一層関わりが深まっている。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	中原　孝洋（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　臨床検査	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	ガイダンス、臨床検査の意義、種類	1～10
2	生体検査1	11～18
3	生体検査2、検体検査1	18～29
4	検体検査2	29～37
5	検体検査3	38～49
6	口腔の検査1	50～58
7	口腔の検査2、摂食嚥下の検査	59～69
8	全身疾患と歯科1	70～81
9	全身疾患と歯科2	70～81
10	まとめ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				8	授業時間数				360		

授業概要	1年次で習得した学習内容を応用し、現場（地域社会）での歯科衛生士の業務内容を把握する。 歯科診療所での、1日の流れや症例を学び、自ら向上する態度、コミュニケーションを身につける。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

授業計画

① 実習項目および実習期間

(1)歯科診療所

11月～翌年3月

(2)高齢者施設

2日間

② 実習の目標

(1)歯科診療所

・口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。

・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。

・対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・コミュニケーション能力を身につける。

・自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				8	授業時間数				360		

授業概要	1年次で習得した学習内容を応用し、現場（地域社会）での歯科衛生士の業務内容を把握する。 歯科診療所での、1日の流れや症例を学び、自ら向上する態度、コミュニケーションを身につける。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

	授業計画

(2)高齢者施設

・保健・医療・介護・福祉の場において多職種と協働する能力を身につける。

・対象者（高齢者）の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・高齢者施設での歯科衛生業務の役割を身につける。

③　実習の内容

【歯科診療所】

1. 医療人としての基本姿勢

2. 歯周病予防処置

3. う蝕予防処置

4. 歯科保健指導

5. 診療現場での対応

・チェアサイドでのアシスタント

・歯科材料の取扱い

・医療安全管理

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				8	授業時間数				360		

授業概要	1年次で習得した学習内容を応用し、現場（地域社会）での歯科衛生士の業務内容を把握する。 歯科診療所での、1日の流れや症例を学び、自ら向上する態度、コミュニケーションを身につける。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

	授業計画

6. 歯科診療補助

・保存診療時の診療補助

・補綴治療時の診療補助

・口腔外科治療時の診療補助

・歯科麻酔時の診療補助

・矯正治療時の診療補助

・小児歯科治療時の診療補助

・高齢者歯科治療時の診療補助

・エックス線写真撮影時の診療補助

【高齢者施設】

1. 高齢者や家族、職員とのコミュニケーション

2. 口腔ケア

3. 摂食・嚥下リハビリテーション

4. 歯科治療時の補助

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授業概要	口腔衛生の専門職として、歯科衛生士に求められる、責任感、積極性、協調性、判断力を高め、実践で養う。 臨地実習では多職種連携の意義、歯科衛生士のかかわり方を学ぶ。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富　すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

授業計画

① 実習項目および実習期間

（1）九州歯科大学

4月中　2週間

（2）保育園実習

4月～7月の中で3日程度

（3）歯科診療所

4月～10月

② 実習の目標

（1）九州歯科大学

・各専門科で行われる歯科診療内容や特色を理解する。

・一般開業医で行われる歯科診療との違いを理解する。

・大学病院の歯科衛生士の役割を理解する。

・見学を主とした臨床実習を実施することで理解を深める。

・全身疾患との関連や全身管理に考慮した歯科診療補助の重要性を理解する。

・臨床現場の現状・実情を知り、卒業後の進路の選択肢の視野を広げる。

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授業概要	口腔衛生の専門職として、歯科衛生士に求められる、責任感、積極性、協調性、判断力を高め、実践で養う。 臨地実習では多職種連携の意義、歯科衛生士のかかわり方を学ぶ。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富　すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

	授業計画

（2）保育所（園）実習

・医療や保健の実践と結びつけながら理解を深め実践能力を養う。

・地域歯科保健活動の歯科衛生士の役割を理解する。

・対象者（幼児）の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・多職種と協働する能力を身につける。

・これから萌出する永久歯、特に第一代大臼歯へのむし歯予防対策の指導を行う。

（3）歯科診療所

・口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。

・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。

・対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・コミュニケーション能力を身につける。

・自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授業概要	口腔衛生の専門職として、歯科衛生士に求められる、責任感、積極性、協調性、判断力を高め、実践で養う。 臨地実習では多職種連携の意義、歯科衛生士のかかわり方を学ぶ。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富　すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

	授業計画

③　実習の内容

【大学病院】

1. 医療人としての基本姿勢

2. 歯周病予防処置

3. 歯科診療補助

・保存治療時の診療補助

・補綴治療時の診療補助

・口腔外科治療時の診療補助

・歯科麻酔時の診療補助

・矯正治療時の診療補助

・小児歯科治療時の診療補助

・高齢者歯科治療時の診療補助

・障害者歯科治療時の診療補助

・エックス線写真撮影時の診療補助

【保育所（園）】

歯や口に関心を持ち、基本的生活習慣として歯・口の清掃や、間食の規則性を守り、好き嫌いなく、よく噛んで食べることができるように指導する。（動画撮影撮影、DVD製作）

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授業概要	口腔衛生の専門職として、歯科衛生士に求められる、責任感、積極性、協調性、判断力を高め、実践で養う。 臨地実習では多職種連携の意義、歯科衛生士のかかわり方を学ぶ。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	永富　すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

授業計画

【歯科診療所】

1. 医療人としての基本姿勢

2. 歯周病予防処置

3. う蝕予防処置

4. 歯科保健指導

5. 診療現場での対応

・チェアサイドでのアシスタント

・歯科材料の取扱い

・医療安全管理

6. 歯科診療補助

・保存診療時の診療補助

・補綴治療時の診療補助

・口腔外科治療時の診療補助

・歯科麻酔時の診療補助

・矯正治療時の診療補助

・小児歯科治療時の診療補助

・高齢者歯科治療時の診療補助

・エックス線写真撮影時の診療補助

九州医療スポーツ専門学校

令和3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合講義	担当者名	邵　仁浩・安永　愛 柿木保明・引地尚子 吉岡　泉・郡司掛香織 久保田浩三・安増絵理 牧　憲司・藤元政考 松尾　拡

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						30

授業概要	国家試験にむけた、基礎科目、臨床科目の総復習
成績評価	国試模擬試験、期末試験
その他	邵　仁浩（実務経験なし）/安永　愛（大学病院に歯科医師として勤務）/柿木保明（大学病院に歯科医師として勤務）/引地尚子（実務経験なし）/吉岡　泉（大学病院に歯科医師として勤務）/郡司掛香織（大学病院に歯科医師として勤務）/久保田浩三（大学病院に歯科医師として勤務）/安増絵理（大学病院に歯科医師として勤務）/牧　憲司（大学病院に歯科医師として勤務）/藤元政考（大学病院に歯科医師として勤務）/松尾　拡（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第5版①～④	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	生理学・口腔生理学（担当：邵　仁浩）	
2	微生物学・口腔微生物学（担当：邵　仁浩）	
3	保存修復学（担当：安永　愛）	
4	高齢者・障害者歯科疾患論（担当：柿木保明）	
5	関係法規（担当：引地尚子）	
6	口腔外科学（担当：吉岡　泉）	
7	矯正歯科学（担当：郡司掛香織）	
8	歯周治療学（担当：久保田浩三）	
9	歯科補綴学（担当：安増絵理）	
10	小児歯科学（担当：牧　憲司）	
11	歯内療法学（担当：藤元政考）	
12	病理学・口腔病理学（担当：松尾　拡）	
13	薬理学・歯科薬理学（担当：邵　仁浩）	
14	衛生学・公衆衛生学（担当：邵　仁浩）	
15	後期期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	接遇	担当者名	中原 三枝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	社会人としての基本の心構えと動作。人の話を聞く、考える、まとめる、言葉にする。グループワークを通して違いを知るチャンス。社会からの評価がすべてである。感じの良い人になる逆算。できることを増やしていく。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	中原三枝（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版 医療の接遇 基本マニュアル＆演習	医療タイムス社 教育研修事業部 編	医療タイムス社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	オリエンテーション、他己紹介（インタビュー力、聴く力、まとめ力）①	
2	〃 ②	
3	医療における接遇とは/保険制度、個人情報/歯科業界	P10～20
4	第一印象の重要性/身だしなみ/表情、態度、挨拶	P22～39
5	実践/姿勢、歩き方、座り方、お辞儀	
6	言葉遣い/敬語・謙譲語	P40～49
7	確認テスト	
8	会話のポイント/感じのいい話し方、タブー/交流分析	P66～90
9	電話応対の基本/グループワーク	P50～61
10	話し方テスト/電話応対テスト	
11	歯科医院で評価される女性になるためのルール①	
12	〃 ②	
13	来客時のお茶の出し方/名刺交換/文書マナー	P100～118
14	グループワーク/テスト勉強の仕方/記憶力アップ	
15	歯科衛生士の心構え/仕事の選び方	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	話法	担当者名	徳永 順子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									20		

授業概要	言葉遣いのみならず、心遣いの出来る歯科衛生士となるべく、EQ及びビジネスマナーetc. を学ぶ。
成績評価	参加型の授業における反応、対応、および試験
その他	徳永順子（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	患者さんの心と信頼をつかむコトバづかいと話し方	山岸 弘子	クインテッセンス出版

回数	授業計画	教科書ページ数
1	EQ	
2	ビジネスマナーの体得①	
3	〃 ②	
4	〃 ③	
5	小テスト、 敬語の基本①	
6	敬語の基本②	
7	患者様の心と信頼をつかむ言葉遣いと話し方	
8	〃 ＆ロールプレイング	
9	自己分析チェック	
10	総括（テスト対策含）	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	ペン字	担当者名	荻生 千重

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									20		

授業概要	先ずは自分の名前をきれいに書けるようになるところから、“書く”ということを楽しんで興味を持つこと。
成績評価	期末試験だけでなく、姿勢・授業態度・ペンの持ち方・改善の跡などで評価する
その他	荻生千重（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	姿勢、ペン、お箸の持ち方、自分の名前、ひらがな	
2	前回の復習、カタカナ、アルファベット、数字	
3	前回までの復習、漢字（文字の組み立て、間架結構法）、かな	
4	前回までの復習、応用編（詩、長文）	
5	原稿	
6	かな（2～3文字の連綿）	
7	筆ペン（かな、漢字楷、行）	
8	賀状	
9	和綴じ	
10	和綴じ	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	介護技術概論	担当者名	柴田 仁子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	・我が国の超高齢社会の現状と介護福祉の現場で起きている問題について知識を得る。 ・介護支援を受ける高齢者、障害者の原因疾患や特徴を理解し、介護の3原則である「安全・安心」「自立支援」「個人の尊厳の尊重」の視点に立った患者の歯科診療受診時の介護・介助の基本的なスキルを習得する。
成績評価	試験 レポート 授業の参加度
その他	柴田 仁子（障害者支援施設において支援員および療育指導員として勤務、訪問介護において訪問介護員として勤務、グループホームにおいて管理者およびケアマネージャーとして勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	高齢者の歯科診療はじめの一歩 介護・介助の基本スキル	内藤徹・秋竹純・牧野路子・水谷慎介 著	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	オリエンテーション 我が国の介護問題と現状について	
2	介護・介助スキルの必要性について	
3	高齢者とは「85歳の私」 高齢者の私の人生について	
4	高齢者の疾病と障害	
5	障害者の障害の原因と特徴	
6	介護福祉の現場で起きている問題	
7	コミュニケーションの基本 介護・介助時のコミュニケーションの実際	
8	高齢者、障害者とのコミュニケーション方法	
9	認知症の理解	
10	認知症サポーター養成講座	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	介護技術演習	担当者名	柴田 仁子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	介護の3原則である「安全・安心」「自立支援」「個人の尊厳の尊重」の視点に立った要介護高齢者、障害者への介護・介助の方法を理解し、実際に役立つ技術を習得する。
成績評価	試験 レポート 授業の参加度
その他	柴田 仁子（障害者支援施設において支援員および療育指導員として勤務、訪問介護において訪問介護員として勤務、グループホームにおいて管理者およびケアマネージャーとして勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	高齢者の歯科診療はじめの一歩 介護・介助の基本スキル	内藤徹・秋竹純・牧野路子・水谷慎介 著	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	オリエンテーション ボディメカニズム（安全な介護・介助の方法）	
2	バリアフリーの環境整備について	
3	さまざまな介護・介助について 衣服の着脱の介助 車いす、杖歩行	
4	〃	
5	福祉用具体験 福祉用具プラザ北九州	
6	〃	
7	在宅障害者の暮らしの理解	
8	障害者の生活の不便を理解する	
9	コミュニケーションの基本 介護・介助時のコミュニケーションの基本	
10	高齢者・障害者とのコミュニケーションの実際	
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	摂食嚥下・口腔機能訓練法	担当者名	藤井 航

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									20		

授業概要	要介護高齢者や障害者における摂食嚥下のメカニズムについて基本的知識を習得したうえで，摂食嚥下障害のさまざまな病態を学修する. 歯科衛生士として，摂食嚥下障害を有する患者へ摂食嚥下リハビリテーションを実践するための基礎として，アセスメント，スクリーニング，精密検査，訓練方法，口腔衛生管理，食事支援の知識を学修する.
成績評価	期末試験、その他（遅刻，欠席，授業態度，実習態度などで減点）
その他	藤井 航（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版	日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	摂食嚥下リハビリテーション総論	1～83
2	オーラルフレイルと口腔機能低下症	84～92
3	摂食嚥下障害患者の評価，スクリーニング	150～174
4	嚥下造影検査（VF）	124～149,175～178
5	内視鏡下嚥下機能検査（VE）	124～149,175～178
6	摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理	179～193
7	摂食嚥下リハビリテーションの実際	194～242
8	間接訓練（実習）	203～215
9	直接訓練（実習）	216～226
10	摂食嚥下障害と栄養管理，嚥下調整食について	93～107
	期末試験	

九州医療スポーツ専門学校
令和 3年度 歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	隣接医療	担当者名	山本 佐知子・中山 大貴

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									20		

授業概要	歯科衛生士として患者様に接する際に知っていなければならない医学的な知識（病態、処置に関しての事項等）
成績評価	授業態度、取り組み、発表の得点 期末テストの点数により評価する
その他	山本 佐知子（実務経験なし） 中山 大貴（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	歯科衛生士国試対策集、その他		

回数	授業計画	教科書ページ数
1	国家試験過去問をもとにした演習1（代謝・内分泌疾患）	9/8 山本
2	国家試験過去門をもとにした演習2（消化器疾患）	9/29 山本
3	実際の医療現場（理学療法士と口腔）	10/5 中山
4	国家試験過去問をもとにした演習3（循環器疾患）	10/6 山本
5	老年症候群について	10/12 中山
6	国家試験過去問をもとにした演習4（免疫疾患・膠原病）	10/20 山本
7	高齢者に対する評価・治療	10/26 中山
8	地域包括ケアシステムについて①	11/2 中山
9	地域包括ケアシステムについて②	11/9 中山
10	発表	11/9 中山

九州医療スポーツ専門学校
令和　3年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	特別教養	担当者名	中原　三枝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	社会人としての一般常識.表現方法を身につける。 目標を明確に持ち工夫ができる人になる。 感じのよい人になれるか。役に立てる人になれるか。 違いを受け入れることができるか。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	中原三枝（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画	教科書ページ数
1	個性心理学/自分を知る、違いを知る、受け入れる	
2	一般常識/雑学、道徳と教養	
3	セルフパフォーマンス①　見られる意識、伝える力、プレゼンカ	
4	セルフパフォーマンス②　姿勢、しぐさ	
5	美しい字の書き方・手紙/食事のマナー/年中行事	
6	患者導入、実践	
7	質問と答え/面接の仕方/評価のポイント	
8	メモの取り方、まとめ方/脳の使い方	
9	感情のコントロール、リーダーシップ/チームワーク	
10	言葉選び/伝え方、倖せと思える自分づくり	
	期末試験	